

ふるさととくぢ

関係市町によるサミット宣言

30年ぶりに徳地で東大寺サミット開催



シンポジウム「重源上人を語る」



重源太鼓 (八坂小学校)



目次

里山だより・徳地地域協育ネット通信…2P

とくぢで輝く・じゃげな話…3P

行政だより…4P

行事カレンダー・図書館だより…5P

総合支所情報局

ふるさとへの軌跡・徳地のバス停探訪…6P

◎人 □

5,074 人

◎世帯数

2,677 世帯

(2023 年 1 月末現在)

重源上人紙芝居 (徳地中学校)





表紙の写真から



春の訪れ

強烈な寒波襲来に震えあがりましたね。待ちわびた春をいちごの里からお届けします。

(取材：徳地づくり達人塾)



あさむらいちご園



tete



ロハスで ディナー



2月からロハス島地温泉の黙雷亭（お食事処）で、17時から20時のディナータイム営業が始まりました。徳地で夜ごはんが食べられる機会は少なかったもので、夜も人が集まる場所があるのは新鮮な光景です。

一日の終わりに上質な温泉と、お風呂上がりの一杯。おいしいご飯でお腹を満たした後は、新鮮な野菜や加工品などをお土産にいかがでしょうか？

(取材：河上特派員)



節分限定メニューの巻き寿司を頂きました！



1月22日（日）、徳地文化ホールで「東大寺サミット2022 in 山口」が開催されました。

当日は、八坂小学校・徳地中学校の歓迎イベント、サミット宣言、東大寺別当橋村公英師による講演会、奈良市観光大使の倉橋みどりさんのコーディネートで、橋村別当、法光寺住職松尾定俊師、徳地史談会吉松桂二さんをパネリストにシンポジウムが行われ、定員500人の客席がほぼ満席になる大盛況でした。

また、イベント広場での特産品や飲食の提供も、地域内外から来られた皆さんに大変好評でした。

(地域振興課)

一年間を振り返って



第2回協議会の様子

いよいよ、締めくくりの月となりました。今年度は、依然コロナ禍ではありましたが、地域との関わりを大切にし、子ども達の学びを止めないという思いで、予定通りに行事を進めることができました。今年度行った行事は以下の通りです。

- 9月27日（火）：徳地地域協育ネット合同研修会（講演、熟議）
- 10月3日（月）：ふれあいボランティア（各地域で清掃等）
- 11月14日（月）：「インスタ映えの四季」完成披露会
- その他：徳地5地区バス停ベンチ設置プロジェクト
徳地文化ホールオープニング事業（芸術鑑賞）
東大寺サミット「オープニングアトラクション」
（八坂小児童「重源太鼓」、徳地中2年生「重源上人紙芝居」）
リーフレット作成 など

来年度も、子ども主体で地域の方々と共に、徳地を活性化させる取組を行って参りたいと思います。一年間、ご愛読いただきありがとうございました。

徳地地域協育ネット通信

みんな大好き
ふるさと徳地



とちで輝く

竹は無限の資源 株式会社 樹^{いつき} 武石泰明さん・智絵さん 夫婦

■竹との出会いは1冊の本から
徳地に嫁いで間もない2020年のこと、放置竹林解決に取り組む本に出会い、智絵さんは、目を奪われました。「徳地も放置された竹林がたくさんある！もしかして、何かできるかもしれない？」と夫婦で早速福岡県糸島市へ車を走らせました。そこで、メシマ作りを習得し、熱い想いも持ち帰り、挑戦することになりました。



■めんま維新樹 誕生
2メートルに伸びた竹の子を採取、その日のうちに茹であげ、塩漬けと多くの工程と半年以上の月日を経て、ようやく、製品となります。

現在出回っている国産メシマは、全体の1〜2%足らず。であれば、「徳地から発信しよう」明治維新で活躍した長州の志士たちにあやかっ、商品名「めんま維新」に決めました。



■竹害から無限の資源へ
新たに組み立てている「竹のパウダー化」。とても優れもので、田畑に混ぜ込むことで天然の肥料になり、作物が丈夫に生育し甘みが増すそうです。更に、燃焼哲学が詰まった新兵器「無煙炭化器」なる

ものを使った炭づくりです。この中で竹を燃やすと積み重なり灰にならず、出来上がった炭は、短期間で土に溶け込み、ミネラルたっぷりの土壌が作れるそうです。



■妻が凄かった

智絵さんは、大阪生まれの大阪育ち、本当は海が好きだ？とか。しかし、嫁いだ先は山だった。そこは、愛の力でパワフルに大活躍中です。なんと蔦が絡んだ夫の生家を自ら草刈り機を手に整備、見事な加工場にしました。

「竹林を整備する事で川から海まで豊かになる。」と力強い言葉に元気を頂きました。また2人の輝き人に出会いました。

(取材：徳地づくり達人塾)

徳地三谷 まほろばの里へ
〜どこまでも続く石積みと営み〜



最終話

◆三谷川を登って来た人がいた・

ありや、1月14日の雨交じりの日だったにの、ジャンボタクシーでわしららの山の中にやって来た連中がおったんじや。何事かいのうって聞いたらの。ガイドツアーじゃ言うけんの。もの好きちゅうたらの。へじゃから、ちくと教えちやったそいや。

◆徳地大祭典の一コマ

彼らは東大寺サミットを盛り上げる企画を実践中のボランティアガイドとお客様でした。8名の定員に2倍の申込みがあった人気ツアーです。浮橋神社のそばで生まれた人、元々三谷に住んでいた人などでした。この企画に興味を持ったKRY山口放送のクルーも同伴しました。

◆桃源郷三谷に残る多くの伝説

三谷のエキ(三谷郷)にやあの、四方を山に囲まれちよるけんの、そりやあ豊かな土地での。幕末にや312軒1174人も住んでいたんじや。この地を開いた切實籙四郎伝説に、重源上人はもちろん、源頼朝の家臣、佐々



石垣の棚田を登る

木高綱など東大寺再建に係る伝説に、奈良原、木地屋、ろくろ郷、国木、などの地名も多いけんの。お。そねえなすごい里じゃから訪ねてくる価値はあるいの。お。

(参考：「桃源郷徳地三谷」山本茂著、徳地町史、徳地大祭典パンフレット)
(執筆：池田特派員)

行政だより

重源の郷からのお願い

重源の郷が令和5年4月1日からリニューアル工事により、約1年間休園となることから、施設内で飼育しております「**徳地地鶏**」をお譲りします。

現在、雄2羽、雌7羽がいますが、全部でも一部でも結構ですので、ご希望の方はご連絡いただきますようお願いいたします。

◎連絡先 **重源の郷**

☎52-1250

(水曜日を除く9:00~16:30)

◎締切 令和5年3月21日(火)

◎条件 3月31日(金)までに

引き取りに来ていただける方(水曜日は除く)

食生活改善推進員の新会員を募集します！

食生活改善推進員は、健康的な食生活や健康づくりについて学び、自分や家族の健康づくりに役立てるとともに、地域の方に伝える中で、やりがいや生きがいを感じながら楽しくボランティア活動をしています。

食育に関心のある方、地域でのつながりが欲しい方にお勧めです。

全6回(6月~2月)の講座を受講後、翌年4月から会員になります。受講料は無料です。

詳しくは、下記にお問合せ下さい。

問合せ先 **健康増進課**

☎083-921-2666

山口市 LINE 公式アカウントをご利用ください

山口市は暮らしに役立つ情報を市民の皆様と共有するために、スマートフォンアプリ「LINE」の「山口市 LINE 公式アカウント」を開設しています。

生活に密着したさまざまな情報の中から必要とする情報を調べることができ、市からの緊急のお知らせや地域からの情報を受信することができます。

徳地地域の情報も発信してまいりますので、ぜひ友だち登録してご活用ください。

登録方法がわからない場合は、お手伝いをしますので、徳地地域交流センター(分館)窓口お気軽にお越しください。

【簡単に調べることができる情報】

- 休日当番医・条件に合う病院
- イベント情報
- 行政手続き方法
- 防災・災害情報
- ごみの分別品目や捨て方
- 市報やまぐち

【個別に設定することで受信できる情報等】

- 防災情報(避難情報等)
- 防犯・交通安全情報
- 地域からのお知らせ(イベント情報等)

アカウント名：山口市
ID：@yamaguchi-city

右の二次元コードからも
登録ができます→



問合せ先 徳地地域交流センター ☎52-0217

行事カレンダー

(3月15日～4月14日)

3月

15

水

認知症家族会（やすらぎの会）

(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670

26

日

出雲地区ラジ体操・ウォーキング

(問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0095

28

火

憩いステーションとくち（あったかプラザ）

(問) 地域活動支援センターやまぐち ☎083-986-2832

4月

6

木

健康相談 栄養相談併設（徳地地域交流センター）

(問) 徳地保健センター ☎52-1114

11

火

憩いステーションとくち（徳地地域交流センター）

(問) 地域活動支援センターやまぐち ☎083-986-2832

フォトギャラリー



2月3日
節分
(上八坂)

◆◇図書館だより◇◆ ☎52-0043

【新しく入った資料】・・・・・・・・・・・・・・・・

- ◎文学 東大に名探偵はいない／市川 憂人、伊与原 新〔ほか〕
- ◎一般書 世界で最初に飢えるのは日本／鈴木 宣弘
- ◎実用書 90歳、ひとり暮らしの知恵袋／大崎 博子
- ◎文庫 もうレシピ本はいらない／稲垣 えみ子
- ◎ティーンズ 雪蟬 完全版／紅玉 いづき
- ◎物語・児童書 絵で見て楽しい！はじめての落語／櫻庭 由紀子、三遊亭 楽松
- ◎絵本 コロネのおしりはどっち？／塚本 ユージ

【企画展示】・・・・・・・・・・・・・・・・

- ◎今月のテーマ 中国風？ 中華小説
- ◎絵本 絵本で世界を旅しよう
- ◎一般 お疲れさまです。
- ◎児童・ティーンズ ともたち

【お知らせ】・・・・・・・・・・・・・・・・

【講演】 徳地と東大寺再建 ～徳地から始まる「材木の道」～

第4回：徳地から始まる「材木の道」
日 時：3月18日（土） 10時～12時
場 所：山口市立徳地図書館 視聴覚室（定員30名）
語り手：吉松 桂二氏（徳地史談会）

休 図書館 3月／20・21・23・27
休館日 4月／3・10

子育て支援センター

すくすくハウス予定 ☎52-0662

3月16日（木）えほんトーク

総合支所情報局

【施設紹介】 伏野河川公園



伏野河川公園は出雲伏野地区にある公園です。川平橋から島地川沿いに約700mにかけて桜の木が植えられており、すぐ横を流れる島地川のせせらぎの音と相まって、憩いの場になっています。

昨年「さくらの守人」を中心に、てんぐ巣病の剪定治療が行われました。

今年の春はより一層美しい桜が見られると期待されます。

問合せ先 土木課 ☎52-1112



+ 休日・夜間診療のご案内（防府市内）

*山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。

【内科・小児科】（受付8:30～11:30、13:00～16:30）

防府市休日診療所（鞠生町）☎0835-24-4172

【歯科】（受付8:30～11:30）

防府市休日診療所（鞠生町）☎0835-24-4172

【外科】 当番医療機関（診療9:00～17:00）

3月 19日（日）たかきクリニック（台道） ☎33-1050

21日（月）ながみつクリニック（中央町） ☎20-1230

26日（日）防府整形外科・リハビリクリニック（新田） ☎25-1060

4月 2日（日）松本クリニック（国衛） ☎25-2522

9日（日）光山医院（今市町） ☎22-1361

【夜間救急病院】（平日、休日にかかわらず）

病 院 名（場所）	電話番号	3月・4月の開設日							
防府胃腸病院（駅南町）☎ 22-3339		15	20	25	30	4	9	14	
桑 陽 病 院（車塚町）☎ 23-1781		16	21	26	31	5	10		
緑町三祐病院（緑町）☎ 22-3145		17	22	27	1	6	11		
三 田 尻 病 院（お茶町）☎ 22-1110		18	23	28	2	7	12		
松本外科病院（天神）☎ 22-1409		19	24	29	3	8	13		

上記の行事につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、中止又は延期となる場合があります。詳しくは上記各行事の問合せ先にご確認ください。

徳地のバス停探訪



上横山（野谷）

1 年間バス停をめぐることで、徳地の多彩な顔を見ることができました。バス停だけでなく、何かテーマを持って地域を周遊することは、とても面白いことで新しい発見に溢れていると思います。同時に、知れば知るほど魅力にあふれている地域だと再確認できました。

今後は理解した資源をかみ砕いて発信していくことで、一人でも多くの人に知ってもらえるように活動していこうと思います。

個人的なことですが、今後は柚野地区に定住する予定です。見かけたときは、気軽に声をかけて頂けると嬉しいです。

（河上特派員）

写真や情報をお寄せ下さい

地域の景色や行事など、**あなたの知っている徳地の素敵などころ・人・モノの写真や情報を徳地地域づくり協議会**まで情報をお寄せください。

※人物が主題の写真は必ず承諾を得てください。
※頂いた写真等は徳地地域づくり協議会で管理し「ふるさととくち」のほか「徳地地域づくり協議会 HP・FB」でご紹介させていただきます。



←二次元バーコードを読み取り、アドレス入力なしでメールできます



ふるさとへの軌跡



徳地と東大寺再建

～徳地から始まる「材木の道」～

（12）最終章

この連載もとうとう最終章を迎えることになりました。「東大寺再建の歴史を、地域の誇り、後世に語り継ぐ歴史にしたい。そのために徳地が「主語、になるように描き直してみたい。」

それは、『重源が徳地の材木を使って東大寺を再建した』という歴史の「結果、からではなく、『なぜ東大寺の再建に徳地の材木が使われたのか』という歴史の「疑問、をきっかけとするものでした。すると、この「疑問、を解き明かす多くの事実が浮かび上がってきました。それこそが、地域の誇るべき歴史、後世に語り継ぎたい歴史でした。そしてもう1つ、忘れてはならない歴史を紹介して終わりとします。東大寺造立供養記という書物の一部を現代語訳で紹介します。

『源平の合戦の時、周防国は荒れ果ててしまい、夫は妻を売り、妻は子を買った。逃亡した者、亡くなった者は数知れない。-----上人は慈悲の心によって、船に積んでいた米をことごとく施して



重源上人像：筆者撮影

やったのです。--- 杣人（きこり）に、「材木にふさわしい木を探した人には一本ごとに米1石与える」といいました。杣人たちはやる気を起こします。険しい谷だろうが峰だろうがそんなことはおかまいなしで勝ち負けを争わずに立派な材木を探し求めました。-----』

大変な逆境にありながら、人々は上人の慈悲に感激し、東大寺再建こそが未来の希望に繋がると信じて、必死になって立派な材木を探し求めたことでしょう。（米1石は成人男性が食べる1年分の米に相当）

東大寺再建に命懸けで取り組んだ、この人々を忘れてはなりません。徳地は今、急速な高齢化と過疎化に見舞われています。この逆境にどう立ち向かうか、歴史から学ぶことも多いのではないのでしょうか。

『徳地から始まる材木の道』は過去の道ではありません。語り継ぎ、受け継がれていくことで、希望の道、未来の道ともなるのです。

（執筆：吉松 桂二）